

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	コンサートプロダクト1	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名	イベント企画コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	240時間
単位数	8単位			授業形態	実習
教科書/教材	イベント毎に必要な資料を準備する				
担当教員情報					
担当教員	古川敬祐		実務経験の有無・職種	無	
学習目的					
溢れる程の情報が出回っている現代社会において、学生の『気づく力』や『洞察力』が不足している傾向がみられる。いつでも欲しい情報を入手する事が出来るようになった反面、周りの変化に気づき、その本質を洞察する事ができない環境となっている事が原因と考察する。この状況を踏まえ本授業では、イベント業界において必要な基礎知識を学び、イベントスタッフとしての役割を理解することを主たる目的としながら、礼儀や挨拶、メールの書き方といった、社会人基礎力及び『気づく力』『洞察力』を身につける事を狙いとする。					
到達目標					
この科目では、大型商業施設でのイベントや、企業・地域と連携したイベント(産学連携プロジェクト)など、実践的なイベント制作を通して『社会とは何か』『社会が求める人材はどんな人材なのか』を考え、学生自らが日々探求し続ける事の重要性を理解する事が狙いである。またイベントスタッフとして、様々な状況にも対応できる知識を修得する為に、イベント検定の資格取得を目指し、多種多様に幅が広がっているイベント業界でも対応していけるスタッフとなる事が目標である。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワーク並びにフィールドワークを採り入れる。与えられるだけでは無く自らが考え行動する姿勢を、常に意識させながら授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の「気づき」や「洞察力」を育成していく。				
注意点	スタッフ育成の学科として理由のない遅刻や欠席は認めない。ただ授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することが求められ、教員講師の発言等こまめにメモを取る事を心掛けてもらう。また主体的に情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。尚、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	グレード筆記試験としてイベントスタッフとしての知識が身についたかを確認する		
	小テスト	0%			
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	10%	企画力、プレゼン力について評価する		
	平常点	60%	イベント企画立案、積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	基礎実習①		イベントを行う目的を理解する		
2回	基礎実習②		イベント構成要素を6W2Hを理解する		
3回	基礎実習③		プレゼンテーションの仕方を身につける		
4回	4つの管理について		時間、物、人、お金の管理の大切さを知る		
5回	企画書の作り方①		消費者の心のスイッチを押す仕組みを知る		
6回	企画書の作り方②		アイディアにリミットを作らない方法を知る		
7回	人を惹きつけるプレゼンとは①		人前でプレゼンする事に慣れる技法を理解する		
8回	人を惹きつけるプレゼンとは②		人前でプレゼンする事に慣れる技法を理解する		
9回	演出方法とその手法①		イベント現場の運営を理解する		
10回	演出方法とその手法②		イベント現場の進行を理解する		
11回	演出方法とその手法③		イベント実施におけるプロモーション方を理解する		
12回	マーケティング①		需要と供給について理解する		
13回	マーケティング②		課題発見力について知る		
14回	マーケティング③		課題発見力について知る		
15回	まとめ		全体のまとめ		